



聖日礼拝プログラム

今週のみことは

司会者 渡邊貞雄師

ONLINE礼拝

讃美★新 主の祈り	1	いざ皆きたりて	—	同
讃美★新 交読詩	4	小羊をば	—	同
祈	篇	4 1 : 1 ~ 1 3	—	同
聖書	マルコ	1 4 : 1 2 ~ 2 5	渡邊頼子師	司会者
説教	「過越の食事」		渡邊貞雄師	
献頌	金★新 101	イエスよ十字架に	個人個人で	
祝	新 63	父、御子、御霊の	(起立) 一同	
				★印。=全節朗読

報告 司会者
受 = な し / 操 = 渡邊師 / A = な し / 報 = 牧師

〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会
TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄
FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子

さて、イエスは、パンを取り、
神をほめたたえてこれを裂き、弟
子たちに与えて言われた。「取り
なさい。これはわたしのからだで
す。」
マルコ一四・二三



2022年3月20日 VOL. 45-12 No. 2368

URL <http://matukyo.com/>
Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 3月も半ばを過ぎ、コロナや世界情勢が激動する中にあっても主を仰ぎ祈る者とさせていただきます。
- ▼ 来週27日(日)夕方から、チャーチ・オブ・ゴッドの総会・年会が開催されます。オンラインと併用で進められます。お祈りください。
- ▼ 総会・年会のために現時点で、牧

師夫妻は来週聖日礼拝後に上京の予定です。ぜひ覚えてお祈りください。

- ▼ 今週25日(金)~26日(土)までは、COGの青年の集いが厳重な警戒のもとで持たれます。主題：「+ NEED YOU」、場所：茨城県 / 兄弟団 聖書学院、講師：西岡義行師 (日本ホ教団)。



- 来週礼拝マルコ14：32~42
- 主 題「ゲッセマネの祈り」

にれ はみ

2022年3月13日
聖日礼拝
マルコ12:41~44
「レプタをささげた女性」
説教 渡邊貞雄 師



ここは貧しいやもめが、レプタ2つを捧げた出来事。「それから」(41)とあり前記事(38~40)の律法学者たちの振る舞いと対比し描かれている。

I、見つめられた主

当時の献金箱はラツパ型の13個で、大きな音がした。やもめがレプタ銅貨2枚(約156円)を捧げ、主はその姿を見ておられた(4)。「見る」の言葉は、いい加減にぼんやり見るのではない。この「セオーレオー」の語はじっくり穴のあく程、目を皿のようにして見ることである。主はあまりに驚かれたのか、すぐに弟子たちまで呼び寄せて、見てご覧と語られた(43)。

II、イエスの評価(判断)

この婦人の姿をご覧になって、主が語られたことは、①「誰よりも多く投げ入れた」(43)と評価された。また、②「乏しい中から」(44)とも語られた。さらに③「持っているすべて」(44)と言われた。もし私たちの手元に残り僅かしかなかったら、なかなか出来ないことではないだろうか。

このやもめは生活の糧の全部を捧げ

たと言うことにおいて主に驚きを与えた。このことは、私たちに何を語りかけているのだろうか。

III、献身と献金とは

主イエスの最後の評価は、「生きる手立てのすべてを投げ入れた」(44)。「生きる手立て」とは、「生活費の全部」、また「生命」「人生」「全財産」「相続財産」等とも訳されている言葉だった。

なぜこのようなことが、このやもめに出来たのだろうか。それは神に全く信頼して日々生きていたからに他ならない。今日がどんな日であろうとも、神によって最善なのだ信じきり、神のお約束を信仰の心で受けとめ理解していた。献金は献身の業とも言われる。また献身は献心でもある。

奪う生涯ではなく祝福を神と人に捧げても、なお神に祝福される幸いな歩みをさせていよう。

地上にありつつ身軽な心で、天を仰ぎ感謝の歩みをさせていよう。

「あなたの宝のある所にあなたの心もある」(マタイ6:21)。